

# 長期共済

# 税制適格年金

在職中：新団体年金共済  
退職後：新団体年金共済 個人年金共済 個人長期生命共済 終身生命共済

新団体年金共済

# ワタシ、失敗 しないので。

たく

資金づくりに「失敗」はありですか？

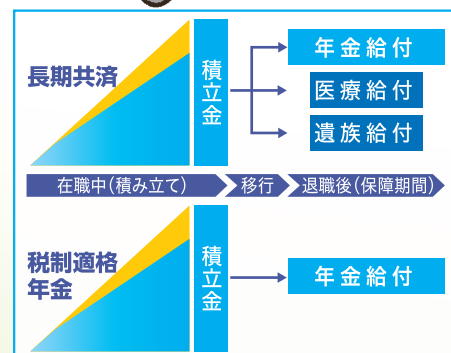


超低金利時代の今、高いリターンを求めるなら、高いリスクを覚悟することが必要です。また、そうした手段で将来の資金を準備するなら金融や経済に関する深い知識が必要不可欠となります。

それでもあなたは、「失敗するかもしれない」手段を選びますか？

将来の資金のためなら「**長期共済**」  
「**税制適格年金**」がおすすりめです。

詳しくは裏面をご覧ください



団体生命共済は、2022年6月以降の更改期ごとに制度改定を実施予定です。また、この制度改定の中で、長期共済の退職後の定期医療給付・遺族定期給付の2026年6月以降の新規移行停止と、退職者向けの生命医療定期保障の新設を予定しています。なお、ここでは制度改定前の内容を記載しています。

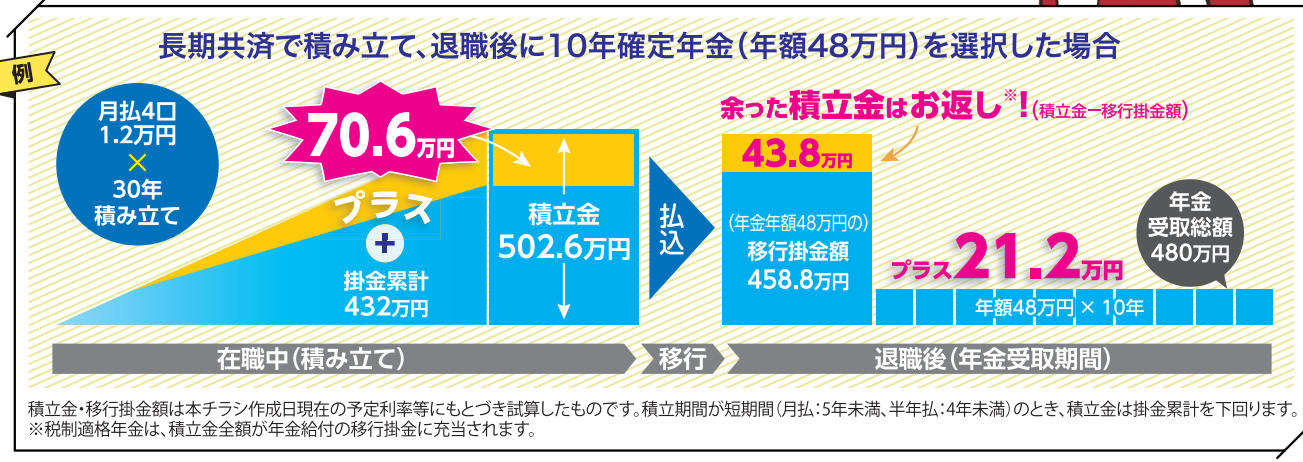
# 「長期共済」「税制適格年金」をおすすめする7つの理由

**理由 1 将来の見通しがハッキリ!**  
 例えば、組合員本人の年金年額は12万円～120万円を選択。「決まった額を受け取れる」から安心です。

**理由 2 資産運用の知識は不要!**  
 積立金の管理・運用は「こくみん共済 coop」が行います。あなたはコツコツ積み立てるだけでOK。管理・運用に労力を費やす必要はありません。

**理由 3 お得な「随時払」も利用できる!**  
 余裕資金を積み立てに充当できる「随時払」。定期的な払い込みの必要がなく、単発的に払い込めます。積立年数1年以上で積立金が払い込んだ掛金を上回るなど、積み立て効率が高いのも魅力。月払または半年払契約が1口以上あれば利用できます。

**理由 4 積立金や年金給付に必要な掛金額があらかじめ把握できる!**  
 在職中の積立金は、積立年数でおおよその額がわかります。また、退職後の年金給付に必要な掛金額(移行掛金)もだいたい決まっているので、「いつまでいくら貯めたい」という目標から逆算して、毎月の積立計画が立てられます。



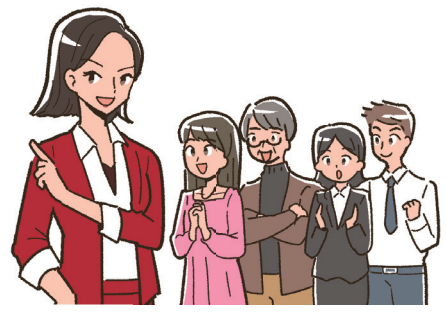
**理由 5 自分にあわせて掛金を設定できる!**  
 長期共済は月払と半年払あわせて50口までの増口、税制適格年金は月払10,000円コース・半年払60,000円コースへの増額が可能。また、減口・減額もできるので、自分のペースで掛金を設定できます。

掛金	長期共済	税制適格年金
月払	1口 3,000円～	5,000円コースまたは10,000円コースのいずれか
半年払	1口18,000円～	30,000円コースまたは60,000円コースのいずれか
随時払	1カ月の発効あたり10万円～200万円(1万円単位)	

※半年払・随時払を取り扱っていない組合もあります。

**理由 6 在職中の掛金は年末調整で保険料控除の対象に!**  
 「長期共済」の掛金は「一般生命保険料控除」、「税制適格年金」の掛金は「個人年金保険料控除」の対象となるので節税効果も見込めます。

**理由 7 中途解約してもそれまでの積立金を受け取れる!**  
 中途解約したとき、退職後の保障が必要ないときは、それまでの積立金を解約返戻金として支払います。



※退職後に受け取る年金は、雑所得の対象となります。

不明な点などがあれば、所属の組合を通じて各都道府県支部にお問い合わせください。契約にあたってはパンフレットをご覧ください。